

第1章 業務の概要

1-1 業務の目的

現在、三浦市内には観光案内板が17箇所、観光解説板が65箇所設置されており、観光客が市内を回遊する際の案内や現地における名跡等の解説など、市内観光を振興するうえで重要な役割を担うものである。

しかしながら、三浦市における財政状況は非常に厳しい状態が続いており、観光案内板及び観光解説板（以下、サイン等という）の整備については、国の交付金や県の補助金等、財源を確保しながら整備を続けている状況である。

さらに、レジャーの多様化、新たな観光の核づくりとしての城ヶ島及び三崎港周辺の整備及び小網代の森の整備等により、観光客の動態も以前とは変わってきていると推測される。また、観光着地点では市内全域的な情報、分岐点では周辺情報及びその後の回遊を選択・誘導する情報が必要と考えているが、厳しい財政状況のなかでは、損傷等の激しい既存サイン等の修繕対応しか行えていないこともあり、現状のサイン等は観光客を誘導する表示に改修する検討ができていない。

三浦市にとって、観光振興による地域活性化は重要課題であり、観光客の回遊性及び観光消費の向上という効果の最大化を図るためには、現状のサイン配置と観光客の回遊実態を調査・分析し、現在設置されているサイン等の利用状況や情報量の過不足等を適切に把握することで、新規設置や既存廃止及び記載する情報の適正化を含めた検討を行い、限られた財源を最大限活用し、サイン等をより効果的なものとする必要がある。

観光客の回遊性及び観光消費の向上を戦略的に推進するため、平成30年度には「（仮称）ぐるっと三浦・まちなかサインータルプラン」の策定を予定しており、サイン等が設置されている地点ごとに必要な情報を取捨選択して記載することで、より実効力のあるプランの策定に向け、市全体のサイン配置の方向性を検証することが必要となる。

以上を踏まえ、本業務では、アンケートによる観光着地点・分岐点での観光客の動態調査、動態調査結果やサイン等の利用状況及び設置状況や、汚損や破損状況等の検証に基づく課題抽出、他の事例に関する調査を実施し、サイン等の基礎調査、維持管理に関する方針を作成するものである。

1-2 履行期限

平成29年7月4日～平成30年3月30日

1-3 対象地域

- ・三浦市全域（対象の案内板、解説板、調査地点）

1-4 調査対象

- ・観光解説板：65基（三浦一族歴史、白秋文学コース、三浦七福神、三浦半島33観音札所等）
- ・観光案内板：17基（三浦市全図、城ヶ島案内図等）
- ・調査地点：8地点（三浦海岸駅、三崎口駅、三崎公園交差点、うらりマルシェ、県立城ヶ島公園（東）、城ヶ島灯台商店街（西）、小網代の森、油壺駐車場・マリナーパーク）

1-5 業務項目

(1) 計画・準備

- 業務計画書・作業計画書の作成

(2) 観光着地点・分岐点での観光客の動態調査

- 動態調査の企画・立案
- 動態調査の実施・看板見学者に対するの捕捉調査（3期）
- 動態調査のとりまとめ
- 動態調査以外のサイン等の汚損及び破損状況調査（82箇所）

(3) 動態調査結果の検証に基づく課題抽出

- サイン等の利用状況及び設置状況の現状・課題の検証
- 主要な回遊ルートやサイン等の抽出
- サインカルテの作成・整備の優先順位の提案
- 観光サインに求められる盤面情報の整理
- 将来展望や2020年東京オリンピックの開催を踏まえた提案
- 市内観光施設での消費効果を高めるための分析・提案

(4) 他の事例に関する調査

(5) サイン等の維持管理に関する方針の作成

(6) 報告書の作成

(7) 打ち合わせ協議

1-6 業務フロー

業務のフローを以下に示す。

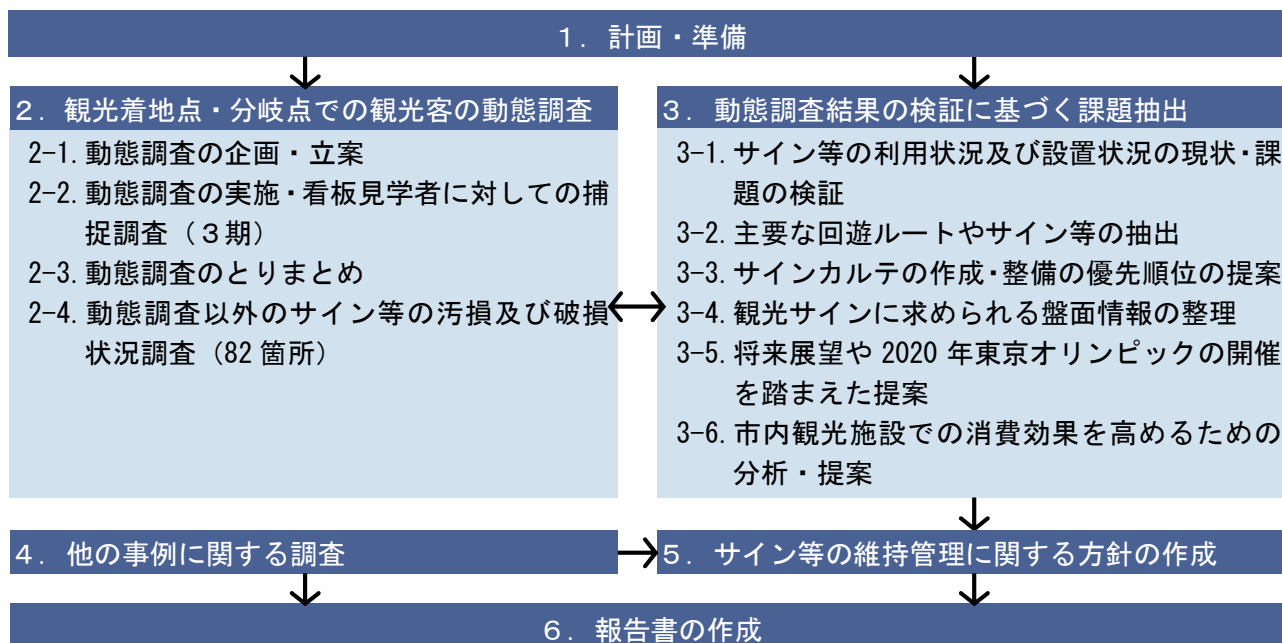


図 1-1 業務フロー

1-7 業務内容

1) 計画・準備

本業務の遂行にあたり、業務の目的、契約内容、業務実施方針、工程、体制、成果品等の項目からなる業務計画書を作成した。

2) 観光着地点・分岐点での観光客の動態調査

(1) 動態調査の企画・立案

①三浦市の観光動態の把握

アンケートの企画・立案に先立ち、公表データや既往の調査結果を踏まえ、三浦市の観光の動態を整理し、その動態を踏まえて調査方法を立案した。

②調査様式の作成

仕様書に記載されている項目（ルート・移動手段及び時間・観光の主目的等）に加え、観光客の動態調査に必要と考えられる調査項目を追加して、調査様式を作成した。また、案内看板を利用している方へのインタビュー調査に用いる調査様式を作成した。

③調査場所の調整・協力活動等

観光客の動態調査地点において、調査可能な範囲を調整した。

また、調査地点の管理者へアンケート調査の協力依頼を行うとともに、調査対象地点の窓口（連絡先）を整理し、アンケート調査の円滑な実施を図った。

(2) 動態調査の実施・看板見学者に対するの捕捉調査（3期）

調査は、以下のとおり実施する。

表 1-1 アンケート調査の実施内容

実施項目	内容
1. 調査地点	三浦海岸駅、三崎口駅、三崎公園交差点、うらりマルシェ、県立城ヶ島公園（東）、城ヶ島灯台商店街（西）、小網代の森、油壺駐車場・マリパーク（範囲内で多くの観光客が訪れ回収率が高い地域を選定）
2. 調査実施期間及び調査時間	7～8月、9～10月及び2～3月、11～1月 3期実施 各期とも土日祝日のうち2日間実施
3. サンプル数	1期合計 850票、3期合計：2,500票程度の取得を目指す
4. 対象者	①調査地点に訪れた観光客（観光客動態調査） 三浦市で観光中及び観光を終えた観光客（到着直後は対象外） ②調査地点の観光案内板等を確認している観光客（捕捉調査） 三浦市に到着直後（交通結節点）及び観光中の観光客
5. 実施方法	【①調査地点に訪れた観光客（観光客の動態調査）】 ・調査票をセットした画板を持参し、調査員によるヒアリング形式 【②調査地点の観光案内板等を確認している観光客（捕捉調査）】 ・観光サインを見ている観光客に対し、調査員によるヒアリング形式
6. 謝礼	・回答率を高めるため、回答者全員（有効回答）に謝礼（記念品）を提供
7. 腕章・身分証の作成	・調査実施中に着用する腕章及び身分証を作成する。
8. 調査員への説明	・調査の実施に先立って、事前説明会もしくはOJTによる指導を実施し、調査の趣旨、注意する点などのレクチャーを行う

(3) 動態調査のとりまとめ

観光客の動態把握に資する情報収集について整理し、かつサイン等に記載される情報の観光客ニーズについて取りまとめた。

(4) 動態調査以外のサイン等の汚損及び破損状況調査

指定された看板等を現地にて調査し、サイン等の汚損及び破損状況を取りまとめる。また、撮影した箇所は、分類分けして写真とともに、GIS上で取りまとめ、一覧整理した。

調査は、カルテの項目を踏まえた野帳を作成し、現地にて項目のチェック、写真等を撮影し、その結果を後述するカルテに取りまとめる。また、現場にて、汚損及び破損の状況も併せて確認した。

3) 動態調査結果の検証に基づく課題抽出

(1) サイン等の利用状況及び設置状況の現状・課題の検証

調査結果に基づき、現存するサイン等の利用状況及び設置状況について、現状と課題を検証した。調査したサインについては、分類分けして写真とともに、GIS上で取りまとめる。その際、盤面のみならず、設置状況や視認性（主な導線からの引きでの撮影）も併せて整理した。

(2) 主要な回遊ルートやサイン等の抽出

(1)の結果を踏まえ、主要な回遊ルートやサイン等を抽出する。また、本調査では休日のパラメータ調査となることから、RESASを活用して、月ごとの休日・平日の来訪者の移り変わり（メッシュ分析）を実施し、主な導線を把握した。

加えて、アンケートのルート調査の結果を用いて、主な移動ルートの可視化を図った。

(3) サインカルテの作成・整備の優先順位の提案

調査結果については、所定の項目で整理したカルテ形式にて取りまとめ、点数化を図る。調査項目ごとの点数をレーダーチャートで取りまとめ、優先順位を判断する指標として取りまとめた。

また、三崎港周辺、城ヶ島など、観光エリアとしてまとめられる範囲については、平面図に各地点を整理し、エリア内におけるサインの数、目的、盤面の内容等について取りまとめた。

(4) 観光サインに求められる盤面情報の整理

加えて、サインは様々な設置者・管理者を有することから、事業者（観光・飲食関係者）や管理者に対するヒアリング調査を実施し、意見を集約し、取りまとめた。その際、事前にヒアリングシートを送付し、現地で聞き取った。

(5) 将来展望や2020年東京オリンピックの開催を踏まえた提案

市内の将来展望や2020年東京オリンピックの開催を踏まえた提案を併せて行った。

(6) 市内観光施設での消費効果を高めるための分析・提案

主要な回遊ルートやサイン等から、市内観光施設（飲食店等）での消費効果を高めるための分析を行い、対処案を提案した。

4) 他の事例に関する調査

他自治体の観光案内板等の設置及び改廃において、観光客の回遊ルートの把握等、本業務に類似した観光客の動態調査の事例について調査し、その結果について報告した。

関連資料を収集するとともに、収集した事例をカルテ形式で取りまとめ、知見を集約した（5事例）。また、効果や課題など既往資料で確認が難しい内容については、電話で問い合わせして確認した。

5) サイン等の維持管理に関する方針の作成

サイン等の維持管理及び撤去について、把握した現状の汚損や破損状況等を踏まえて、改修及び撤去に関する方針の提案を取りまとめる。提案内容は、「サインの汚損・破損状況（現状報告）」、「サインの整備、維持・管理の流れ」、「改修及び撤去の基準・方針」、「チェックシート等」を想定した。

また、国や県の公共標識のガイドライン（観光活性化標識ガイドライン）や、他の市町村での策定内容等も踏まえて検討した。

6) 報告書の作成

上述までの調査・分析結果をまとめ、最終報告書を作成し、提出した。

1-8 業務組織計画

表 1-2 事業実施体制

種別	技術者名	所属・役職	主に担当する分担業務の内容
管理 責任者	1) 成瀬 研治	防災・地域計画部 担当課長	・業務全般の管理 ・報告書作成
業 務 担 当 者	2) 大堀 功尊	防災・地域計画部 担当課長	・動態調査結果の検証に基づく課題抽出 (主要な回遊ルートやサイン等を抽出、カルテ作成) ・他の事例に関する調査
	3) 守田 海里	防災・地域計画部	・観光着地点・分岐点での観光客の動態調査（調査設計、調査管理、とりまとめ関連の補助）
	4) 永安 純一	防災・地域計画部 課長	・サイン等の維持管理に関する方針の作成
	5) 飯塚 功	防災・地域計画部 担当課長	・観光着地点・分岐点での観光客の動態調査（調査設計、調査管理、とりまとめ）
	6) 森本 拓	防災・地域計画部	・業務全般補助
	7) 浦瀧 洋平	神奈川支店	・動態調査結果の検証に基づく課題抽出 (調査全般補助、関係者との調整など)

1-9 成果品の納入部数

- ・(仮称) ぐるっと三浦・まちなかサイントータルプラン基礎調査業務委託結果報告書
(表紙、裏表紙及び写真等についてはカラー紙) 10部
- ・案内板等カルテデータ及び概要説明資料 一式